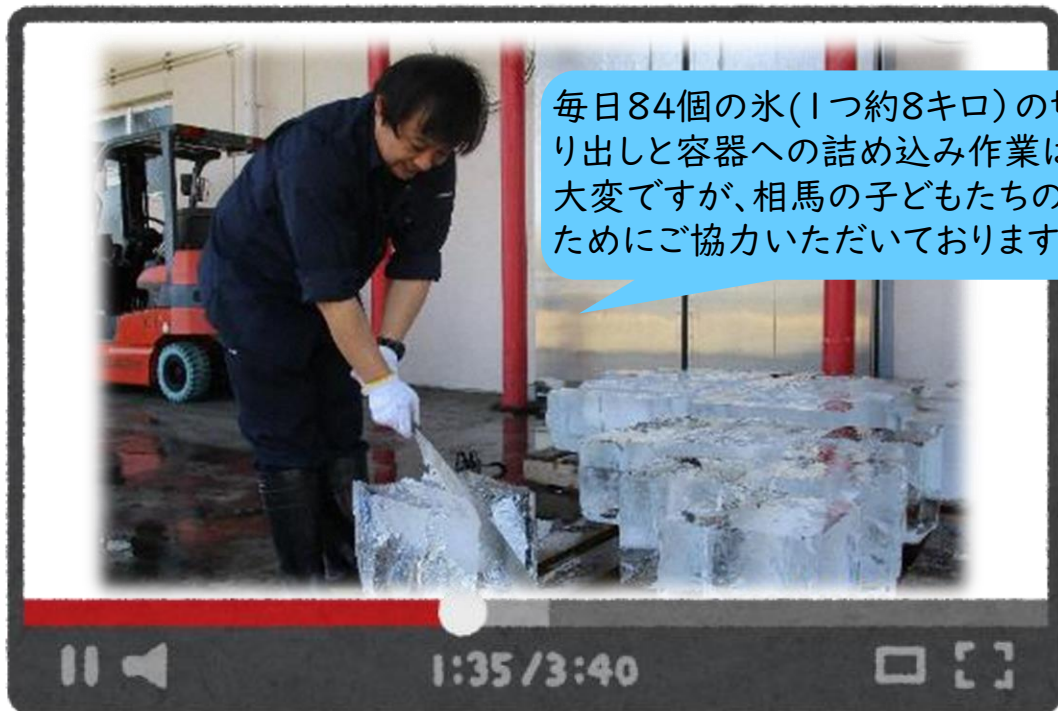




相馬市 地域の協力による『熱中症対策』



相馬市では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休業期間の児童生徒の学習機会を保障するため、夏季休業期間中の12日間を授業日としました。(7月21日～8月7日)

その間、新型コロナウイルス感染症対策を施しながら、「熱中症」対策の一つとして、児童生徒への冷水の供給を行うこととしました。

今回の冷水の供給には、「相馬双葉漁業協同組合」様のご協力をいただいで実現可能となりました。

○ 夏季休業期間における授業日(12日間)の熱中症対策 学校教育課

(1) 小・中学校120学級に冷水を供給  
相馬双葉漁業協同組合(地域)より氷・保冷用樽の提供  
1学級あたり氷(8kg)+ペットボトル2L 8本(1人500ml)

児童生徒が飲みたいときに自由に給水する。  
なお、給食～昼食休憩時には必ず給水する。  
(給食当番と同じように給水当番を設ける等の工夫)  
感染防止のため手洗い後に給水をする。  
昼の校内放送で、ペットボトルの支援提供先を知らせる。  
例 今日、熊本の水です。おいしくいただきます。

漁協にて氷をビニール袋に入れる。  
これを発泡スチロールに収め学校に搬入。  
昇降口(所定の場所)に発泡スチロールに入れた状態で配給する。  
休憩時に教室等に設置する。(右図)  
氷が無くなった発泡スチロールは昇降口(所定の場所)に置いておく。→回収

冷水の給水に際しては、一番最適な状態で提供できるよう、何度も試行し、上記の方法で実施することとなりました。



各校の様子 (設置状況) から



一つの樽に最大10本入れて冷やします。これも試行錯誤の結果です



生徒数の多い中学校では、広いスペースを確保し、給水場所を設置しています。樽の上には、衛生面を考慮して蓋を付けました。

ペットボトル水を設置した状態です。11時頃に配られた水でも、氷水に浸すことで、お昼休みには冷えた状態で提供することができます。

各学校では、学校の実情に応じて給水場所を設置し、給水時の「3密」を防ぐ工夫をしています。「熱中症対策」と併せて「感染症対策」も忘れません。



相馬市立中村第一小学校の様子から



「しっかり水分補給してね！」

中村第一小学校の子どもたちは、自分で水筒を持ってきているため、午前中の水分補給はそれを使用します。

給食のあとに給水タイムを取っています。それ以外にも、運動の後などには意識的に給水タイムを取るようになっています。

大きな氷で冷えた水が冷たくておいしかったです。

学校でこんな冷たい水が飲めるとは、思ってもみなかったです。とてもおいしかったです！



樽の中で冷やした水を見て、何だかお祭りの時を思い出し、楽しくなりました。おいしかったです。

35 / 3:40



相馬市立中村第二中学校の様子から



各学校には、このような形で氷が運ばれています。

中学校では、給水の準備を生徒会が中心となり、生徒自らの手でしています。



【生徒からのお礼の手紙より】  
相馬市そして相馬双葉漁業協同組合の皆様、このたびは『氷』と『ペットボトルの水』をいただきまして、本当にありがとうございます。  
早速、水筒に移し替えて飲んでみたら、とても冷たくておいしかったです。  
これから暑い日が続きますので、休み時間や昼休み、放課後の部活動の時に冷たい水が飲めるのはとてもありがたいです。  
新型コロナウイルス感染拡大防止のために臨時休業になった分、授業振替が続きますが、将来の夢の実現に向けて、健康に気を付けてしっかり学習に取り組んでいきたいと思えます。



相馬市立中村第二小学校の様子から



給水場所に感謝の気持ちを表した掲示を行いました。

部活動前にも補給し、休憩中においしくいただいています！

給水場所に、今回ご協力いただいている漁協さんへの感謝の気持ちを掲示しました。

子どもたちのために、たくさんの方の協力があることを伝えるよい機会となっています。

相馬市立磯部中学校の様子から



放課後になっても氷が残っているため、冷水の供給は授業中だけでなく、放課後の部活動にも活用しています。

部活動中はたくさん汗をかき、塩分が必要なため、スポーツ飲料用の粉末を溶かして、水分補給を行っています。